

（6）現地調査

ア．調査概要

2022年6月19日15時08分に発生した石川県能登地方の地震（M5.4）により、金沢地方気象台は、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、震度6弱を観測した震度観測点の観測環境が地震により異常を生じていないか、設置状況の点検及び震度観測点周辺（約周囲200m）での被害状況を把握するため、現地調査を実施した。なお、同震度観測点では、20日10時31分の地震（M5.0）においても震度5強を観測した。

イ．調査日及び実施官署

2022年6月20日（月）金沢地方気象台

ウ．調査対象震度観測点および観測環境点検結果

震度観測点： 珠洲市正院町＊（＊は気象庁以外の震度観測点を示す）

観測された震度： 6弱（19日15時08分）、5強（20日10時31分）

調査結果：震度計台や周囲の地盤等には震度観測に影響を与えるような異常は認められなかった。

エ．地震動による被害状況調査

震度観測点の周囲約200mの範囲内における被害の状況について調査を行った。その結果、震度観測点周辺では、①灯籠の倒壊、ブロック塀の破損、②壁の剥離、墓石の落下③民家のブロック塀上部の破損の被害が確認された（図6の丸番号を参照）。

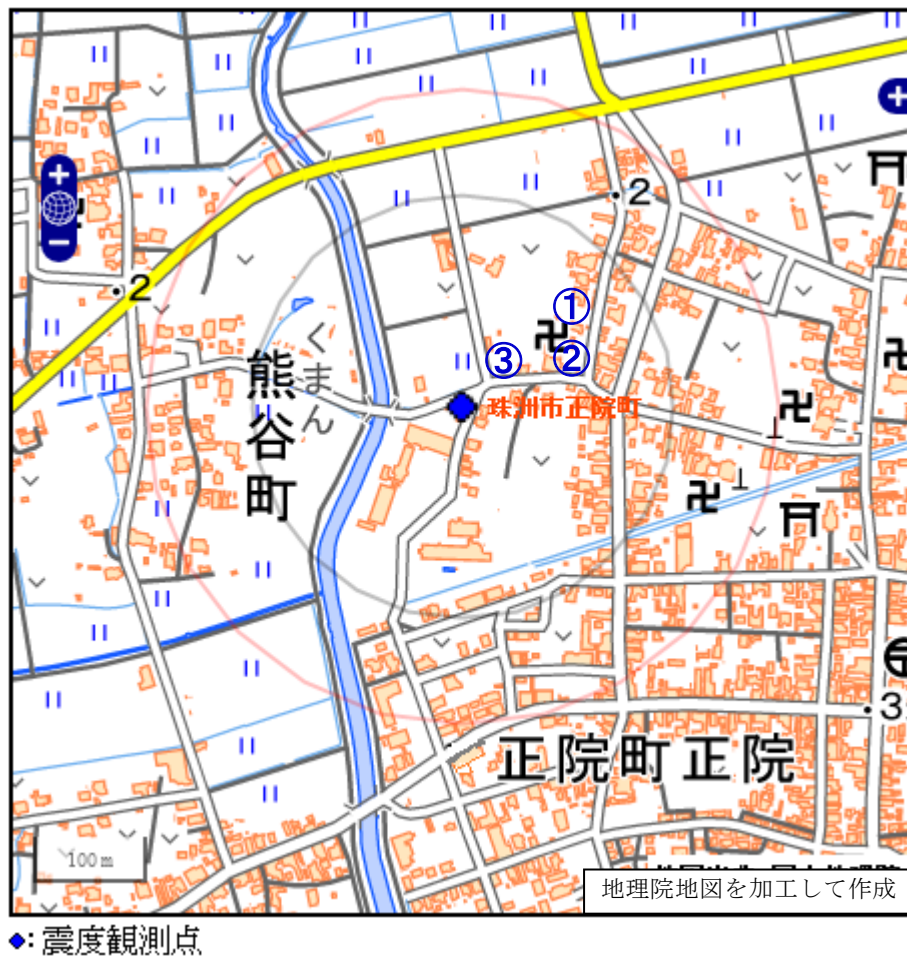


図6 震度観測点および周辺の被害状況
（グレーの円は観測点から200mを、赤の円は300mを示す）